

「シュレック」"SHREK" ●● 第9回

## “Sometimes things are more than they appear.”

### 「ものごとは見かけだけじゃわからない」

痛快である。この映画にあふれるパロディ精神は白雪姫、シンデレラ、ロビンフッド、ピノキオと、おなじみディズニー・ワールドにも容赦ない。スレてひねくれた大人にこそぴったりの、懐の深いファンタジー作品だ。

文=中野香織

なんだアニメか。などと思いがらさほどの期待を抱かずに見に出かけたら、予想を激しく裏切られることになりました。

一見、「あたたかな笑いがあふれる21世紀のおとぎ話」（「朝日小学生新聞」）を装ったこの映画は、（もちろんお子様も無邪気に楽しめますが）実は多少スレてひねくれた大人の観客こそ拍手喝采して楽しめる、痛快で懐の深い作品です。主人公シュレックのセリフを借りるならば、

#### Sometimes things are more than they appear.

（ものごとは見かけだけじゃわからない）

というところでしょうか。アニメか実写かなんて区別すらどうでもよくしてしまうほどの迫力の映像もさることながら、ストーリーやセリフの細部に、観客の意表を突く細やかな芸が行き届いて、一瞬たりとも飽きさせません。

笑いの源の多くは、おとぎ話界の伝統が覆されたりパロディにされたりする「裏フェアリー・テイル」的なひねりにあります。製作がPDI/ドリームワークスだけあって、パロディにされる対象は主にライバルのディズニーです。とりわけ白雪姫、シンデレラ、ロビンフッド、ピノキオは、この映画を見てしまったら果たしてまじめな顔して見ることができかどうか。

チビで陰険な悪役ファークアート卿が支配するデュレック王国もディズニー・ランドのパロディですし、そもそもファークアート卿のルックスからしてディズニーの最高経営責任者、マイケル・アイズナーにどことなく似ています。そういえばこの映画のプロデューサーのジェフリー・カツエンバーグは、かつてアイズナー会長にディズニーを解雇されていたのです。そういう事情をふまえてこの映画を見れば、

#### Some of you are going to die, but it's a sacrifice I'm willing to make.

（何人かは命を落とすであろう。しかしわたしは甘んじてその犠牲に耐えよう）

という嫌みったらしいファークアート卿のセリフも、カツエンバーグの首を切ったアイズナー会長へのあてこすりと読むことができたりして。

なーんて深読みしすぎかどうかはともかく、シュレックがファークアート卿に言及するときのセリフには、洗練された意地悪表現とも呼ぶべきものが冴えわたっているのです。たとえば、シュレックと相棒のロバがファークアート卿の巨大な城の前に着いたときのセリフ。

#### Do you think maybe he's compensating for something?

（チビはでかいものを選ぶ）

'compensate' は心理学において「足りないものの代償・補償作用をする」という意味。でかい車や家、超高級ブランド品などを鼻にかける、しょうもない人のことをちくりとあてこすりたときにもこのまま使えるセリフです。

とまあ、楽屋落ちネタも楽しいものの、本筋は堂々たるフェアリー・テイルでありますから、「ナイトの助けを待つ美しいプリンセス」というのが出てこなくてはならない。そのプリンセスこそ、ファークアート卿が「白雪姫」「シンデレラ」「フィオナ姫」という'**eligible Bachelorettes**'（花嫁候補の独身女）のなかから選んだフィオナ姫。シュレックとロバはフィオナ姫を助ける役目を押し付けられ、口から火を吹くドラゴンの城に幽閉されている姫を救い出します。このときのシュレックとフィオナのやりとりにも、簡潔にして絶妙なセリフがちりばめられています。たとえば、「筋書き」と違ってドラゴン退治を済ませずに姫を救



UIP配給。今年5月に全米で公開されるや、オープニング3日間の興行収入がアニメ作品としては歴代1位に輝き、「パールハーバー」や「ジュラシック・パークⅢ」をも上回る興行成績を達成。12月よりロードショー

助に来たシュレックとフィオナの次の会話。

#### Fiona: You didn't slay the dragon?!

（まだドラゴンを退治してなかったの?!）

#### Shrek: It's on my to-do list.

（これからだ）

冗談じゃねえやという類の仕事の催促をされたら、'**to-do list**'（これからやるべき仕事を書いたリスト）に載せてある、という言い方で受けておけば、「やるつもりはありません」と明言するより角が立ちませんね。さまざまなシーンで応用可能なセリフです。

また、自分のアイデンティティに踏み込むような質問をされたときのかかし方として参考になるセリフもあります。

#### Fiona: What kind of knight are you?

（あなたはいったいどんな騎士なの?）

#### Shrek: One of a kind.（今にわかる）

'**one of a kind**' は '**unique**' の意味。どんな '**kind**'（種類）のついでいわれたって、**ogre**（怪物）という **kind**（種）にはオレしかないんだし……。などと解説するまでもなく、スタイリッシュでありながら相手にそれ以上の質問をする気をなくさせてしまう、決めセリフです。

日本語吹き替え版も豪華な顔触れで公開されますが、ここはひとつ、平明でありながら感情にしっかりと届くセリフがちりばめられたオリジナルの英語版を堪能してみましょう。シュレック役のマイク・マイヤーズによるスコットランドなまりの「演技」やロバ役のエディー・マーフィーの早口英語は、大人向け映画だとお手上げ状態になることもあります。お子様を視野に入れたこの映画ならではの不思議と楽しめる余裕も出てきます（と思っています）。